



#### 第167回水道統計編纂専門委員会（3月3日）

はじめに、報告事項(1)「水道のあらまし第六版の改訂」及び報告事項(2)「平成26年度水道統計入力システムにおけるインストール確認チェック表（案）」について、事務局より報告を行った。

続いて、議題(1)「平成25年度水道統計」について、平成25年度における水道の普及状況、並びに水道統計冊子へ記載する被災地対応の凡例について、事務局より説明を行い、承認された。

次に、議題(2)「平成26年度水道統計調査の見直し」についてを上程し、平成26年度水道統計調査での入力要綱・調査項目等の変更について、事務局からの提案に基づき審議し、承認された。

#### 水道 GLP マネジメント・レビュー（3月4日）

尾崎理事長並びに関係者出席のもと、水道 GLP マネジメント・レビューを実施し、事務局からプログラムに沿って水道 GLP の審査・認定状況等の報告を行なった。

また、尾崎理事長から、水道 GLP は順調に進展しているが、今後も、水質検査機関の検査技術の向上に努め、審査体制の強化を図るよう指示があった。

#### 第111回機械・電気・計装専門委員会（3月11日）

水道用ポンプマニュアル及び水道用バルブハンドブックの改訂に関し、最終原稿案の確認を行った。

また、次年度の委員会での検討テーマについて検討を行い、次回委員会までに意見を集約し決定することとした。

#### 第962回抄録委員会（3月12日）

本誌5月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議した。

## 水道 GLP 認定証授与式

水道 GLP 認定委員会で認定が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を、日本水道協会理事長室において行った。



3月13日

高槻市水道部

(認定番号：JWWA-GLP117)



3月25日

長岡市水道局

(認定番号：JWWA-GLP119)

## 第241回衛生常設調査委員会（3月17日）

最新の水質情報について、長坂厚生労働省健康局水道課水道水質管理官から次の説明があった。①ジクロロ酢酸、トリクロロ酢酸の水質基準値の変更（平成27年4月1日施行）、②検査方法告示において、フェノール類の検査方法の追加及び国家計量標準にトレーサビリティが確保された標準原液の使用を認めること（平成27年4月1日施行）、③フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)及び農薬「1,3-ジクロロプロペン(D-D)」、「オキシ銅(有機銅)」の目標値の変更（平成27年4月1日施行）、④厚生労働省健康局水道課長通知「『浄水処理対応困難物質』の設定について」（平成27年3月6日付健水発0306第2号）を発出したこと等。

続いて、事務局から、①水質試験方法等調査専門委員会の活動報告、②水道用薬品及び資機材の衛生性調査専門委員会の活動報告について報告を行った。

## 第36回認証制度運営委員会（3月18日）

加藤品質認証センター長の開会挨拶の後、「第36回認証審査委員会審議結果」、「平成26年度マネジメントレビュー」、「品質認証事業平成27年度品質目標(案)」、「教育・訓練の実施状況」、「平成26年度試買検査結果」、「判定委員会における審議結果」、「品質認証業務規則の改正」等について事務局から報告を行い、了承された。



### IWA 統計・経済スペシャリストグループ・ワークショップ（3月19日）

国内水道関係者約120名の参加を得て、「世界の水道事業の現状と経営戦略—水道の広域化、公民連携について考える—」をテーマとしたワークショップを開催した。

滝沢東京大学大学院教授が座長を務め、オランダ、ルーマニア、スペイン、ベルギー及びアメリカから IWA 統計・経済スペシャリストグループの専門家がスピーカーとして出席し、各国の現状と課題、取組事例等に関する講演とパネルディスカッションを行った。



### 第97回水道 GLP 認定委員会（3月24日）

水道 GLP 認定について、認定更新検査機関として新潟東港地域水道用水供給企業団（認定番号：JWWA-GLP 073）、札幌市水道局（認定番号：JWWA-GLP 022）、（一財）東海技術センター（認定番号：JWWA-GLP 023）、（株）イズミテック（認定番号：JWWA-GLP 026）が、認定維持検査機関として（一財）宮城公衆衛生協会（認定番号：JWWA-GLP 095）、（株）総合環境分析（認定番号：JWWA-GLP 096）、沖縄県企業局（認定番号：JWWA-GLP 049）が、それぞれ審議され決定された。

### 第179回工務常設調査委員会（3月24日）

JWWA 規格の改正について審議したほか、指定給水装置工事事業者研修テキストの改訂、ISO/TC224上下水道関連国際標準化の動向、最新の水質情報、水道事業ガイドライン（JWWA Q 100）改正の中間報告、水道維持管理指針改訂の経過等について、事務局より報告を行った。

### 第93回検査事業委員会（3月25日）

はじめに、議題(1)「第92回検査事業委員会議事録について」事務局より報告を行い、了承された。

次に議題(2)「検査施行要項の改正について」を上程し、①水道用ポリウレタン被覆方法検査施行要項、②水道用ポリエチレン被覆方法、③水道用塗覆装銅管、④水道用塗覆装銅管の異形管の各検査施行要項の改正について、審議を行った。

各検査施行要項の改正については、検査施行要項等専門委員会委員長の中井大阪市水道局技術監理担当課長より、専門委員会の審議結果についての報告を行い、慎重審議の結果、一部修正することとして全て了承された。



### 平成26年度第4回理事会（3月26日）

尾崎理事長が議長となり、報告事項1「公益社団法人日本水道協会の会務」、報告事項2「公益社団法人日本水道協会職員給与規程の一部改正」について、それぞれ事務局から報告を行った。

続いて、第1号議案「会員の入会」、第2号議案「公益社団法人日本水道協会平成27年度事業計画書及び収支予算書の承認」、第3号議案「公益社団法人日本水道協会第86回総会の開催及び開催通知の送付」、第4号議案「公益社団法人日本水道協会職員給与規程の一部改正」、第5号議案「日本水道協会役員報酬の改定」、第6号議案「平成27年度水道イノベーション賞」、第7号議案「森・里・川・海連環税（仮称）」についての7件を上程し、審議の結果、原案のとおり決定した。



### 第4回水道事業ガイドラインに関する規格専門委員会（3月27日）

水道事業ガイドライン（JWWA Q 100）の改正に関し、業務指標（PI）の改正案の審議を行った。

委員会での議事を踏まえ、規格改正案の修正を行い、次回（平成27年6月頃を予定）の第5回委員会に諮ることとした。

### 第11回水道 GLP 運営委員会（3月27日）

平成26年度水道 GLP 運営委員会（委員長：眞柄トキヲ松学園理事長）を開催し、水道 GLP の審査・認定状況等を報告した。

また、眞柄委員長より「水道 GLP は11年目を迎え、120箇所弱が認定されている。今後も審査が増えることが予想されることから、効率的な審査方法の検討や審査員の審査技術の向上に努めること」との意見があった。



### 第937回会誌編集委員会（3月30日）

本誌6月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱いについて審議した。